

第 11 回 JKJO 全日本ジュニア空手道選手権大会 2017 年九州地区選抜予選会 大会要項

2017 年 11 月 18 日・19 日に幕張メッセにて開催されます「第 11 回 JKJO 全日本ジュニア空手道選手権大会」の九州地区選抜予選会を下記日程にて開催いたします。

日 時 平成 29 年 4 月 16 日(日)

選手受付・計量	午前 11 時 00 分
組合せ公開抽選	午前 11 時 30 分
試合開始	午前 12 時 00 分

会 場 大分県立総合体育館 柔道場
大分県大分市青葉町 1 番地 TEL 097-551-1511

参加資格 九州地区 JKJO 参加道場が出場できます。
JKJO 参加団体以外の選手は、個人登録が必要となります。選手登録費 2,000 円

参加費 5,000 円

ルール JKJO 全日本空手審判機構公認ルール
幼年・小学生は、上段膝蹴り禁止 中学生以上は有効

階級 幼児～高校生 学年男女別トーナメント制
※セコンドにはつくことが出来ません。
小学 2 年生までは付添いを認めます。但し、指示・応援は出来ません。
また、コート外からの指示・応援も出来ません。

防具 JKJO 規約に則ります。(別紙参照)
※ヘッドガード・サポーター類は各自用意
拳サポーター・レッグサポーターは JKJO 指定品
膝サポーターは JKJO 推奨品

代表枠 出場総人数
200 名以下 優勝者のみ
201 名以上 400 名以下 優勝者・準優勝者

申込締切 平成 29 年 3 月 31 日(金)事務局必着厳守
※出場申込書と出場料を各道場単位で現金書留にて郵送して下さい
締切後の申込みは一切出来ません。申込後のキャンセルは出来ません。

送付先 〒870-0921 大分県大分市萩原 4-15-6 TEL 097-552-9929
JKJO 九州地区事務局 FAX 097-558-2828

※剣道場を控え室及びアップ会場として使用できます。柔道場には、試合の時以外は入場不可となります。

※フロアでのアップや荷物等を広げることは禁止となっています。マナー厳守をお願いします。

第11回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会
2017年九州地区選抜予選会申込書

開催日:平成29年 4月16日(日)

会 場:大分県立総合体育館 12時開始

私儀、下記の通り相違なく、また本大会のルールに従い、正々堂々と競い合う事をここに誓います。
また、試合中における負傷・事故につきましては主催者側にその責任の一切を問いません。

選手保護者氏名 ㊞

フリガナ			性別	生 年 月 日		
氏 名			男 女	年	月 日生	
住 所	〒 TEL () -					
級・段位	級・段	帯 色	色帯	年 齢	歳	
身 長	cm	体 重	kg	空手修行歴	年 ヶ月	
道 場 名			団体責任者			
道 場 住 所	〒 TEL () -					
出場クラス 該当クラスを ○で囲んで ください (新学年)	幼年	幼年男子	幼年女子			
	小学生	小学1年生男子	小学1年生女子	小学2年生男子	小学2年生女子	
		小学3年生男子 27kg未満	小学3年生男子 27kg以上	小学3年生女子		
		小学4年生男子 30kg未満	小学4年生男子 30kg以上	小学4年生女子 30kg未満	小学4年生女子 30kg以上	
		小学5年生男子 35kg未満	小学5年生男子 35kg以上	小学5年生女子 35kg未満	小学5年生女子 35kg以上	
		小学6年生男子 40kg未満	小学6年生男子 40kg以上	小学6年生女子 40kg未満	小学6年生女子 40kg以上	
	中学生	中学生男子 45kg未満	中学生男子 55kg未満	中学生男子 65kg未満	中学生男子 65kg以上	
		中学生女子 45kg未満	中学生女子 55kg未満	中学生女子 55kg以上		
	高校生	高校生男子 60kg未満	高校生男子 70kg未満	高校生男子 70kg以上		
		高校生女子 50kg未満	高校生女子 57kg未満	高校生女子 57kg以上		

※出場クラスは、新学年での申し込みとなります。

※学年・性別・体重別クラスの記入間違いは、失格となりますので注意して下さい。

※○kg未満のクラスは、当日計量行います。衣服の重さは0.5kgまで

※ゼッケンは、当日配布いたします。(団体受付)

JKJO全日本空手審判機構 試合規約

	試合時間				組 手		サポーター					
	本戦	延長 ※マスト	再延長 ※マスト	上段ガ	一本 (自滅も同様)	技有り (自滅も同様)	ヘッドガード JKJO指定品 各自用意	拳 JKJO指定品 各自用意	スネ 脛 JKJO指定品 各自用意	ヒザ 膝 JKJO指定品 各自用意	ファール カップ JKJO推奨品 各自用意	女性用 チェストガード JKJO推奨品 各自用意
幼児 小学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	無	打撃により 一瞬でもダウン 3秒以上の 戦意喪失	① 宙に浮かせ転倒させる ② 上段にクリーンヒット ③ 一時的に動きが止まる ④ 一時的に戦意喪失 ⑤ 下段蹴りで足を引きずる ⑥ 腹部のダメージで体が くの字になる ⑦ 防戦一方になり反撃しない 状態が続く	○	○	○	○ 3年以上 義務	○	3年生以上女子 ○ 2年生以下女子 × 男子 ×
中学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	有			○	○	○	○	○	女子 ○ 男子 ×
高校生	2分	2分	2分 決勝のみ	有			○	○ グローブ	○	○	○	女子 ○ 男子 ×
一般 女子	2分	2分	2分 決勝のみ	有	打撃で3秒 以上のダウン	① 完全に宙に浮かせ転倒させ タイミング良く下突きを合わ せれば技有り	×	×	○	任意	○	○ 硬質可
一般 男子	2分 準決勝から 3分	2分	2分 準決勝から	有	3秒以上の 戦意喪失	② 上段にクリーンヒットし ダメージがあれば技有り ③ ~ ⑥ ジュニアと共通	×	×	×	×	○	×

※JKJO 指定品と同タイプで、新極真のロゴマークが入っているサポーター、ヘッドガード(金網面)は使用可。

反 則	失 格
a. 掴み、掴んでからの攻撃、掛け、抱え込み b. 掌底押し、正拳押し、相手の身体に手・胸を付けての攻撃 c. 頭突き、頭をつけての攻撃、背後からの攻撃 d. 手技による顔面・首への攻撃、膝への関節蹴り e. 下腹部(帯より下、股関節より上)への攻撃(一般は金的) f. 故意に場外へ出る事、審判が判断した技のかけ逃げ g. 上段膝蹴り(小学生以下は反則、中学生以上は有効) h. 主審の「やめ」の合図の後に意図的に攻撃をした場合 i. その他審判が反則とみなした場合	a. 注意4となった場合 b. 一度の反則でも相手がドクターストップになった場合 c. 試合時間に遅れた時 d. 審判員の指示に従わない時 e. 試合開始から判定が下されるまでの嘔吐はダメージ とみなされ失格とする f. 規定体重を超えていた場合

判定優先順位	判定基準図解
一本 (失格) > 技有り > ダメージ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性	

注意差の関係	
0 ≦ 注意1 ≦ 注意2 ≦ 注意3 > 注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0 ≧ 注意2	注意差2の時は基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
0 > 注意3	注意差3の時はどんなに試合内容でリードしていても技有りを取らない限り負けである
0 > 注意4	注意4になった時点で失格
注意1 ≧ 注意3	注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
注意1 > 注意4	注意4になった時点で失格なので相殺されない
注意2 > 注意4	注意4になった時点で失格

注意差と技有りの関係	
0 < 技有+注意1 ≦ 技有+注意2 ≦ 技有+注意3 > 技有+注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0 < 技有+注意2	注意差2でも技有りがあるので勝ちである
0 ≦ 技有+注意3	技有りがあるので勝ちだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
0 > 技有+注意4	技有りがあっても注意4になった時点で失格
技有+注意1 ≧ 技有+注意3	注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
技有+注意1 > 技有+注意4	注意4になった時点で失格
技有+注意2 > 技有+注意4	注意4になった時点で失格

着 衣	禁 止 事 項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 帯留め着用必須(帯が解けないように帯留め又はテープで固定) ・ ファールカップはスポンの内側にすること。 ・ 男子のインナーTシャツは禁止、女子は白のみとする。 ・ 女子のチェストガードはTシャツの下に着用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 判定後の「雄叫び」「ガッツポーズ」は厳禁とする。(注意・失格となる場合がある) ・ 判定に対しての抗議は一切受け付けない。 ・ 怪我によりテーピングを施す必要がある場合は救護係りの指示に従い検印を受ける。 ・ テーピングは各自持参すること。

注 意 事 項
<ul style="list-style-type: none"> ・ セcondコートは付けられない事とする。応援は禁止とする。 ・ 派手な髪型(金髪など過度の染髪、デザインした剃り込みを入れる等)での出場は禁止とする。 ・ 大会参加前には必ず各自スポーツ保険に加入すること。・大会主催者は、大会当日の事故・怪我・盗難についての一切の責任を負わないこととする。